

令和7年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：25010

学校名：月寒東小学校

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析	
体力・運動能力 <男子>	○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 長座体前屈、反復横跳び、シャトルラン、	○前回の記録より下回った傾向がある種目 握力、上体起こし、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ	
体力・運動能力 <女子>	○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 握力、反復横跳び、シャトルラン、ソフトボール投げ	○前回の記録より下回った傾向がある種目 上体起こし、長座体前屈、50m走、立ち幅跳び	
運動・スポーツへの意識、運動習慣	<ul style="list-style-type: none"> 「運動やスポーツをすることが好き」「体育の授業は楽しい」と回答する子どもの割合 R5 男子:86.7%、女子:46.3% R6 男子:80.4%、女子:50.0% R5 男子:76.7%、女子:58.5% R6 男子:72.9%、女子:56.4% 	<ul style="list-style-type: none"> 体育の授業を除く1週間の総運動時間が60分未満の「ほとんど運動しない」子どもの割合 R5 男子:0.0%、女子:2.5% R5 男子:10.0%、女子:9.0% 	
三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③健康に関する指導の充実
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 「課題探究的な学習」の推進 子どもが運動の楽しさに触れ、運動量を確保した学習の推進 ICT（1人1台端末等）を活用した学習活動の充実 <u>全学年、通年で「楽しい」体育をめざした課題探究的学習</u> 一人一人の運動量を確保した学習内容や場の設定を工夫する。ICT（1人1台端末）を活用し自らの運動の可視化、地域の特性や人材を生かした取組などを通して、運動の楽しさと、課題を自ら見付け、それに向かって考え動くおもしろさを味わう授業を目指す。 持久力や敏しょう性の向上を図るために、縄跳びの継続的な取組を行う。児童が目標をもって意欲的に取り組むことができるような工夫を行う。 マット、跳び箱週間を取り入れ、運動量を確保し体力向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動の機会の充実を図る環境整備の推進 三間（仲間、時間、空間）の創出により運動機会の充実を図る取組 <u>運動機会や運動種目経験の差を小さくするための「にれっこトレーニング」、児童発信で運動の楽しさを味わわせる「委員会活動」</u> 通称「にれトレ」～学年ごとに体育館を使い、内容や種目を子どもの実態に合わせて設定し、通年実施する。学齢別の目標などを掲示し意欲を引き出す。 委員会活動～運動委員会をはじめとして、ブロック内で学級ごと、または個人の記録を表彰するよう集会を計画したり、児童発信の自由参加の体操やダンスなどの集会を企画したりして、運動の機会を広げ、楽しさややりがいを味わわせる。 休み時間の遊びの充実～集団での遊び方を教師が教えたり、全員遊びを働きかけたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科等の内容を関連付けた健康教育の推進 外部講師の活用など家庭・地域との連携 <u>学校保健計画の年間計画を作成し、指導の充実を図る取組</u> 学校保健計画と学級活動計画を連携させ、児童はもちろん、家庭への啓発も含めて、教育活動全体における指導の充実を図る。 <ul style="list-style-type: none"> （早寝早起き、朝ごはんの推奨、睡眠や電子機器使用に関する注意喚起や啓発） （養護教諭・栄養教諭と連携した、健康指導と食育の充実） （「携帯・スマホ安全教室」の対象学年拡大、薬物乱用防止教室」など出前授業の活用） 総合的な学習の時間3年「食生活を考えよう」、5年「フードアクション北海道」と関連付け健康教育を推進する。
検証の方法	<ul style="list-style-type: none"> ○保健体育の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用（日常の実技テストや観察等） ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査や学校独自のスポーツテストの結果を活用 ○学校評価による職員・児童・保護者アンケート結果の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康診断・検査結果の活用 ○学校関係者評価等の活用 	